

平成24年度病虫害発生予報第7号(10月予報)

今月のトピックス

トノサマバッタ (サトウキビ)

学名 : *Locusta migratoria*

サトウキビへの被害



成虫



黒化した幼虫による食害



幼虫の群生



生態と被害

本種は、サバクトビバッタと同様に世界中でときおり大発生して、甚大な経済的被害をもたらす。通常は緑色～褐色の体色を呈する孤独相としてイネ科植物がある草地や河原などで散発的に生息している。しかし、密度が高くなると体色が黒化し、前胸背板上部がへこみ、翅が相対的に長くなる群生相へと進む。群生相の個体は飛翔に適し大群で移動しながら、あらゆる植物を食害する。干ばつや造成、森林火災などの後に大発生した事例が報告されている。年間3～4世代が経過する本県では、春から密度の高い状態が続くと晩夏～秋に大発生しやすいと考えられる。サトウキビでは幼虫および成虫が中肋のみ残して葉を食べ尽くす。1972～74年に南北大東島、2007年に伊平屋島で大発生が確認されている。

<http://www.pref.okinawa.jp/site/norin/byogaichuboj/index.html>